

松下記念病院でQプローブPCR法肺炎マイコプラズマ検査もしくはFilmArray呼吸器パネル検査2.1を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

肺炎マイコプラズマ検査の検出に係る調査のご協力をお願いします

このたび、松下記念病院において、QプローブPCR法肺炎マイコプラズマ検査もしくはFilmArray呼吸器パネル検査2.1を用いた肺炎マイコプラズマ検出状況に関する調査研究を実施いたします。そのため、過去に当院を受けられた患者様の診療録をさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的：肺炎マイコプラズマ感染症は、小児を中心として集団生活の中で流行する病原体による感染症です。当院では、患者様の「のど」を擦過したスワブ検体を用いてQプローブPCR法（東洋紡社Genecube）によって肺炎マイコプラズマの検出・診断、菌種に応じた適切な抗菌薬の選択的治療を行っています。また、FilmArray呼吸器パネル検査2.1（バイオメリュー社）は、通常診療において鼻咽頭ぬぐいスワブの検体から、肺炎マイコプラズマのほか、複数の呼吸器病原体を検出し診断と治療に活用しています。当院において、今後の当該検査の好適応を検討し、運用上の最適化、感染対策に活用することを目的とします。

研究の方法：2024年7月から2025年2月において当院でQプローブPCR法肺炎マイコプラズマ検査もしくはFilmArray呼吸器パネル検査2.1を受けた患者様が対象となります。研究に用いられる情報としては、年齢、初発症状、発症日から計上した発症からの日数、経皮動脈血酸素濃度（SpO2）などの呼吸症状の程度、胸部レントゲンを元に肺炎の診断の有無などの臨床症状と、入院に至った転帰や治療、近隣の医療機関で事前に行われた他の迅速抗原検査などの結果の照合などについての情報などについて検討します。研究期間は、当院倫理委員会において承認日から5年間で予定しています。研究に用いられる情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。個人を特定できる情報を削除した記録媒体を用い、研究責任者が保管・管理します。

研究組織：松下記念病院 小児科 磯田賢一

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申し出てください。その場合でも患者さんに不当な診療上の不利益が生じることはありません。なお申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、松下記念病院医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先 松下記念病院 小児科

部長・磯田 賢一

電話：０６－６９９２－１２３１（代表）